

ひまわり



平成30年8月27日(月)

竹のように



大学生の頃、よく嵯峨野（京都）に出かけました。嵯峨野で有名な物の一つに竹があります。竹藪から上を見上げた時、真っ直ぐに伸びる幹のその先に見える青空がとても好きでした。また、竹そのものの強い生命力にも魅力を感じます。地下茎から出てくる筍は、一日に1m以上も伸びることがあるほどです。竹にある多くの節は、竹のしなやかさと強さを生み出しています。節には成長点があり、この部分が伸びることで背が高くなるのです。

37日間の夏休みが終わりました。皆さんは、この夏休みをどのように過ごしましたか。多くの方が、部活動や日頃できないことを頑張ってくれたと思っています。本日から2学期がスタート。私は、始業式を竹の節のようなものだと考えています。この日を気持ちと行動の切り替えの節目としてとらえてほしいのです。そうすることで、皆さんはこの2学期も大きく成長できるのです。それでは、この節目に何を切り替えればよいのでしょうか。以下に記しますので、しっかり取り組んでください。

基本的な生活習慣を大切に

夏休み中、夜更かしで生活リズムが狂ってしまった人もいるかもしれません。早寝・早起きをして、朝御飯をしっかり食べて、早めに登校してください。

挨拶と掃除で心を整える

大きな声で、笑顔で自分から挨拶をしましょう。「挨拶」を通じて、たくさんの方と心を通わしましょう。また、清掃活動を大切にして、心の掃除もしましょう。

服装は心の鏡

残暑の厳しい日が続いています。けれども、標準服を正しく着こなして、心を引き締めましょう。心の乱れは服装にあらわれます。

全力投球で授業に臨もう

中学校は学びの場です。中学校生活で、皆さんが一番大切にしなければならないものは授業です。学びを深めることで、皆さんは知識を得るとともに人間的に成長できるのです。授業中の私語や居眠りはもってのほかです。

平和について考える



8月6日、9日に、広島市原爆死没者慰霊式並びに平和祈念式典、長崎原爆犠牲者平和祈念式典が行われました。原爆投下から73年目の祈念式典です。

あの日、広島・長崎に落とされた原子爆弾は、一瞬にして町を阿鼻叫喚^{あびきょうかん}の世界に変えてしまいました。

核反応で発生した放射線は大気に影響を与え、大きな火球が形成されました。そこから発生した衝撃波は、爆風となり、あらゆるものを吹き飛ばしたのです。また、数百万℃に達した火球の熱線は、あらゆるものを焼き尽くしました。そして、核反応によって放出された放射線や放射性物質は、その場で人の命を奪ったばかりか、その後も原爆症という形で人々を苦しめ続けてきたのです。

原爆投下は、あの大战の最終局面として仕方がなかったのでしょうか。このことについては、さまざまな意見があります。しかし、それをいくら論議しても、日本が唯一の被爆国になった事実は変わりません。大切なことは、人類が二度とあのような惨禍^{さんか}を繰り返さないことです。

2009年、オバマ前米国大統領は、チェコ共和国の首都プラハで核廃絶に関する演説を行いました。その中で、「アメリカは核兵器を使用した唯一の核保有国として、行動を起こす道義的責任を有する」と広島・長崎への原爆投下に言及してまいいた。その後、核兵器廃絶への世界的機運は高まったものの、現実はどうでしょうか。今の国際情勢を考えた時に、核の脅威が減ってきたとは言いがたい局面が見えてきます。

戦争や核のない平和な世界を実現するためには、皆さん一人一人が平和に関する正しい知識を身につけ、それを人類の知恵として共有・実践していくことが大切なのです。これからも学びを深め、皆さん一人一人が、世界平和実現の担い手となることを切に願っています。

<保護者の皆様へ>

学校ホームページで、日々の教育活動のようすを公開しています。どうぞ、本校ホームページを閲覧してください。

【東住吉中学校】で検索



QR code

東住吉中学校HP → <http://swa.city-osaka.ed.jp/swas/index.php?id=j742691>